

# なでしこ通信

## 第159号（令和2年7月号）

発行：鳥取県済生会境港総合病院広報委員会

発行責任者：病院長 村脇 義和

所在地：〒684-8555 境港市米川町44番地

電話番号：0859-42-3161（代表）

ホームページ：http://www.sakaiminato-saiseikai.jp



院是（当院の基本理念）

あかり

病む人に光をとすより良い医療をめざして

わげんあいご

さりげない気くばりと和顔愛語で心暖まる病院を

築きあげよう

当院の基本方針

私たちは

1. 済生の精神に基づき、地域の保健・医療・福祉を支えます。
2. 患者さまや家族の皆さまに暖かく安全で良質な医療を提供します。
3. 地域中核病院として救急及び先進医療の提供に努めます。
4. 地域とのつながりを大切にし、他の医療機関・福祉施設との連携に努めます。
5. 情報の開示・説明により信頼される医療を目指します。



### 副院長に就任して

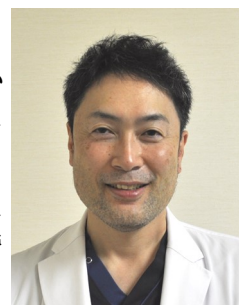
済生会で初めて辞令交付を受けたのは2002年4月1日でした。あれから18年もの歳月が経ち、このたび副院長に就任することになりました。

この18年の間に国が新たに導入した臨床研修医制度の影響を受け医師不足に陥り、さらには看護師も慢性的に不足する時期がありました。私を含め皆が疲弊する毎日だったと記憶しています。ただ幸いにも心折れることなく、いつかきっと良い日が来ると信じておりました。現在は医師、看護師ともに充足してきていますがその厳しい時期を乗り越えられたのは職員が一致団結した結果であったと確信しております。もちろん前院長の稲賀先生の並々ならぬご尽力、現在の村脇院長が大学教授時代に心強い支援をして下さったことは言うまでもありません。

今、全世界が新型コロナウイルスと戦っております。この未曾有の事態に対し私も連日、その対策に追われています。当院は感染症指定医療機関であることからその責任は重大です。もはや使命感しかありません。

引き続き患者さんから信頼される病院となるよう診療、病院運営に取り組んでまいります。今まで以上にご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

鳥取県済生会境港総合病院 副院長 佐々木祐一郎



### PCRドライブスルー検査ユニット寄贈



鳥取県米子市に本社があり、建築材料販売及び施工会社である株式会社ミヨシ産業より、PCRドライブスルー検査ユニットを寄贈いただきました。



このユニットは、感染症が疑われる患者さんへのPCR検査を、ドライブスルー方式で行うことができ、患者さんのプライバシーの確保という点でも非常に有効です。

当院は、鳥取県感染症指定医療機関である為、今後も地域の皆様が安心して生活できるよう、感染症医療に貢献したいと思います。

## リハビリテーション科より～お家でできる簡単な運動～

暑い日が続きますが、夏バテはされていないでしょうか？今日も自宅でできる運動を紹介させていただきます。部屋の中を涼しくし、水分をしっかりと摂りながら実践してみてください。

### 膝伸ばし



#### ポイント！

まっすぐ座った状態で体を起こし、足を伸ばした際につま先は手前にむけるようにします。

1～4のカウントで膝を伸ばしていき、  
5～8のカウントでもとに戻す。

#### 効果

この運動は太ももの筋肉を鍛える運動です。太ももの筋力強化は階段昇降など、様々な移動・移乗動作に効果があります。また膝関節痛の軽減効果もあります。

### つま先立ち



#### ポイント！

姿勢をよくした状態で行い、踵を上げた際にお腹を前へとつきださないように注意が必要です。

1～4のカウントで踵を上げていき、  
5～8のカウントでもとに戻す。

#### 効果

この運動はふくらはぎを中心に足全体の筋力を強化する運動です。ふくらはぎの筋肉は、立位保持・歩行に重要です。

この資料は、とっとり方式認知症予防プログラム（運動プログラム）をもとに作成しました。体力に自信のない方でも安全に行えるよう考えられています。運動をすることで認知症予防にもなりますので、興味のある方は鳥取県ホームページよりご参照ください。

### 当院の医療・福祉相談について

当院では、ソーシャルワーカー（社会福祉士）が医療、保健、健康などさまざまな相談に応じています。秘密は守ります。 \*無料低額診療事業として医療費の相談にのっています。

場所・電話 地域医療連携室 0859-42-5803、42-5805 時間 月～金曜日 8時30分～17時15分